学校番号	1007

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代文演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	LT 実践長文読解（浜島書店）　入試頻出セレクション　漢字プラス語彙 2040（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学受験を念頭に置いて、評論文と小説の読解力を養います。
「論理的に読む」とはどういうことなのか、演習を通して体得していきましょう。
授業では、毎回 1 文ずつ文章問題に取り組みます。解説を通して本文の内容や解法を理解し、評論読解に必要な時事力や語彙力も増やしましょう。
この授業を通して、大学入試に活かせる読解力を身につけましょう。
評価は定期考査と日々の授業への取り組み、課題への取り組み状況をもとに行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】文章を読みこなし、正確に、素早く、解答することができる。
論理的な文章の読解に求められる時事知識を身につけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的な文章の読解に必要な語彙力を身につけることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
論理的な文章の読解を通じて、言葉が持つ価値への認識を深め、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 西垣通「情報伝達」という神話 川端康成「かけす」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［読］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 山崎正和「混沌からの表現」 山田詠美「無銭優雅」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［読］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 鷲田清一「感覚の幽い風景」 井上靖「百日紅」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［書］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 三浦雅士「考える身体」 幸田文「おきみやげ」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［書］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 外山滋比古「読者の世界」 山本兼一「利休にたずねよ」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［読］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み

	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 内田樹「知に働けば蔵が建つ」 芥川龍之介「枯野抄」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［書］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 前田英樹「絵画の二十世紀」 加藤周一「日本における時間と空間」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［読］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み
	問題演習を通じて、読解力を育む。 ［教材］ 村上陽一郎「西欧近代科学〈新版〉」 加藤秀一「〈個〉からはじめる生命論」	a:言葉の意味や漢字の書き取りができる。 b:［書］本文の構成や著者の意図に留意して内容を読み取ることができる。情報化社会への知見と視点を持つことができる。 c:意欲的に読解に取り組み、新たな知見を得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	授業や課題への取り組み

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間